

広報 春秋あずまお 第九号

第九号

2008年上半期版

春秋あずまお 第九号上半期版によせて

北海道の洞爺湖にてG8環境サミットが本年七月に開催されましたように、現在あらゆるところで環境問題という言葉が叫ばれています。これは、地球上にかつてない「人為的」な気候変動が起きつつある、それに対する危機感の表れです。環境。一言で表しても、日本語では自然や天然、生活環境、エコなど、たくさん意味を含んでおり、なかなか理解されにくいのが本当のところ。ですが、板橋区にも「今すぐそこに環境危機」が迫っています。

この号では平成二十年上半期の活動報告に加え、環境特集として代表的な緑のカーテンの取り組みを紹介致します。



板橋区議会議員
坂本あずまお

集環境 特緑のカーテン

地球温暖化対策とはじめ 緑のカーテン

ゴーヤ（がうり）や朝顔、へちまのつるをネットに張り、夏場の窓辺の外に巡らせて直射日光を和らげ部屋を涼しくする「緑のカーテン」をご存知でしょうか。いま板橋区では緑のカーテン発祥の地として、日本中に広める活動をしています。さらに暑くなりそうな今年の夏に、ぜひ私たちの手でも手軽で効果ある温暖化対策に取り組みましょう。

きっかけ

視察報告にもある、三月に那覇市よりいただいたゴーヤの種二万粒は、苗にされ区内幼稚園保育園などに配られました。ですが、一万粒といっても残念ながら地域の間々にまで行き渡る数には足りません。そこで成増支部六町会のエコポリス環境行動会議と各町会が主体となって地球温暖化対策のことはじめ、緑のカーテン運動を始めようということになりました。

緑のカーテンの効果

では植物の力を利用して、夏のエアコン使用量はどれだけ抑えられるのでしょうか。

図にもあるように、水分を多く含む葉っぱの蒸散作用により周囲の温度を下げてくれるので、カーテンから涼しい風が流れ込み、室温の上昇を抑えてくれます。

現在区内の家庭には約二〇〇から三〇〇〇世帯、公共施設には八六施設にカーテンが設置されています。そのうち今回の運動地域だけで五〇〇世帯、区内の二〇〇%以上を

図1.緑のカーテンの効果

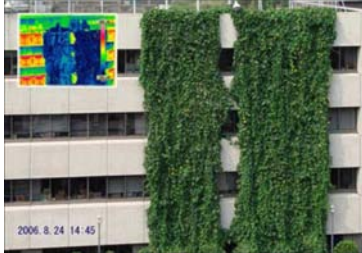
- 1.遮光**
 - *一般的な窓ガラスの遮光率:15%
 - *窓を60%覆う「緑のカーテン」がある場合の遮光率:約80%
 - ⇒エアコンの設定温度(28℃)が同じでも、窓付近での体感温度に11℃もの差が出ます。
- 2.蒸散作用による冷却効果**

暑い光を当てた場合の表面温度の比較

 - すだれ: 40℃
 - 緑のカーテン: 24℃- ⇒「緑のカーテン」は光だけでなく、熱も遮ることができます。

「緑のカーテン」を設置すると、真夏のエアコン使用では20~30%の省エネ効果があります。^{※1}
 ※外気温31℃の時、エアコン(2.2kW)の設定温度を27℃から28℃にすると(1日9時間使用)、670円の電気代節約になります。^{※2}

占めています。これは種の状態を配るだけだった他の地域と違い、畑が多い特性を活かして田中嶋一会長、久保兼吉さん、田中孝治さんの三農家に種を苗に育てていただき地域の皆さんに配ったことのおかげで感謝に絶えません。
 小中学校や区役所庁舎に設置するようにならなもののばかりではなく、商店の軒先にプランターを一つ一つ置いていくだけでも非常に効果が上がります。七月中に種を植えても十分間に合いますし、温暖化対策としてぜひこの取り組みを一緒に進めてゆきましょう。



活動報告・視察報告

●和と美の会 1月26日

あずまお若手政策研究会「和と美」主催による子供向け里神楽と獅子舞。地域の子供たち一〇〇人以上が訪れ、初めて触れる獅子頭や舞の衣装など地元根ざした伝統文化を感じて楽しみました。



●一般質問 2月18日

議員として二度目の定例会「一般質問に立ち、都市農業と地産地消、省エネ助成と環境教育、文化財保護、地域連携の防災対策赤塚庁舎の項目などについて質問と要望を出しました。特に都市農業に関する提言は重要課題として本年中に協議会が設立されることになり、自然エネルギー普及に対しては議会の中心となって動き出しています。

●荒川マラソンに出場 3月16日

荒川河川敷において行われたフルマラソンに初挑戦し、無事六時間半で完走ゴールすることができました。

●那覇市視察 3月29日

板橋区が初発である緑のカーテン。那覇市の温暖化対策の取り組みを視察するとともに、那覇市長からゴーヤやへちまの広まりに感謝の意を込めゴーヤの種一万粒が贈呈されました。同時に全国から環境問題に熱心な自治体関係者が集まり第一回緑のカーテンフォーラムが開催されました。



●企画総務委員会 5月28日

板橋区の行財政、人事、運営など区の中心事項を扱う企画総務委員会に自民党新人議員として抜擢され、青年のフレッシュな視点による意見を述べています。

●トルコ大統領との公式晩餐会 6月6日

トルコ初の公式訪問となったアブドゥラ・ギユル大統領の日本訪問に際して、イスタンブール留学をしていたご縁で晩餐会に出席してきました。その後七月にトルコを訪れたり、「二〇一〇年トルコにおける日本年」を目標にして、板橋との国際交流を深める企画を現地友人たちと進めています。

●病児保育施設

子供が急に発熱、お勤めに出ているお母さんは気がありません。子育てでお母さんが安心して働くことのできるよう、自民党プロジェクトチームの一員として関係医療機関と協議を続けて参りました。子供たちの突然の病気や発熱に対応できる「病児保育」施設の開設がまもなく実現します。

●放課後子ども教室

平成二〇年度から始まった板橋区放課後子ども教室。放課後も児童が安心してのびのび遊び学べる居場所をつくり、地域の大人皆で教育とふれあうと子どもと学び交流を深め、子と地域の自主性と社会性を育むものです。学校の校庭などを開放して今後も全地域が充実するよう、自民党議員団全力で仕組みづくりに努めて参ります。

●青色防犯パトロールに多大な効果!

東京都が六月までに行なった実態調査で、青色防犯パトロール活動を行っている場合の犯罪抑止効果が発表されました。ご覧のように近隣区と比べ非常に効果が現れています。犯罪抑止効果の高い順番として1空き巣、2忍び込み、3居空き となっております。



秋には区主催のコンテストが予定されています。皆様にご協力頂いて今年以降もまたずっと継続してゆけるよう、設置場所と数の把握、失敗や成功事例、アイデアをたくさん上げていただき、この夏収穫した実からの種で、来年も黄色い花が咲くのを楽しみにしています。

※1 中部電力エコライフ倶楽部「ホームページ」より
 ※2 財団法人省エネルギーセンター「家庭の省エネ大事典」より

表1.抑止効果の順番ベスト10

1. 空き巣
2. 忍び込み
3. 居空き
4. 自動車盗
5. オートバイ盗
6. 自転車盗
7. 車上ねらい
8. ひったくり
9. 事務所荒らし
10. 資材置き場荒らし以上10罪種

表2.他区との比較表

